常磐毎日新聞

日刊

一月二十四日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ケ月金六拾錢　郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治　平　長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社　（振替口座）東京　四〇二一〇番

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

國道事務所
新築が愈々確定
公園の南崖下に
けふ仙臺出張所長來平

平市四丁目の國道改良第二事務所（第一事務所は福島市）は常設的の計劃である爲め敷地を松ケ岡公園南崖厄子亭下に選定廳舍を新築する豫定であつた處事變の影響から一時立消えとなり着手覺束なしと見られて居たが六號國道は本年長橋から內郷村地內に十萬圓程度で改修される事が確實となり今後繼續的に工事が進められて行く模樣なので愈よ國道事務所を前記の敷地に設置する事となり本日內務省土木局仙臺出張所長金森誠之氏が來平明日の保健所落成式に臨席の爲め來平した若島知事と共に實地を檢分し尚ほ六號國道を視察した

今次事變最初の金鵄勳章傳達式
けふ市役所で擧行さる

支那事變の戰死者平市紺屋町故高橋正上等兵に對する功七級の金鵄勳章及び勳八等白色銅葉章はけふ午前十時市役所で青沼市長から遺族の母堂ナチさんに傳達されたがこれが今次事變最初の勳章傳達であると

榮養食から
体位向上を圖る
平保健所に榮養室
開所式を控へ竣工

縣立平保健所では地方民の健康相談その他により衛生思想の普及徹底を圖つてゐるが更に榮養の指導にも當ることになり所內に榮養室を設置中のところこの程竣工し明日の開所式に間に合つた

これは粗食に馴れて榮養不足勝ちな地方民に榮養食の指導を行ひ食物から農山漁村民の体位向上を期そうといふのである

磐東銀行
株主總會

植田町磐東銀行の第八十六回定期株主總會は明二十五日午前十時半から開催

一、昭和十三年度下半期營業報告書、貸借對照表、財產目錄、損益計算書の承認及利益金處分案

一、退任監查役藤田茂之助氏に慰勞金贈呈の件を附議するが當期の成績は左の如く配當は年二分四厘である

△當期純益金五、一八五圓九錢△前期繰越金一〇、五二圓八二錢△この處分法定準備金六〇〇圓、建築積立金二、〇〇〇圓、退職給與基金五〇〇圓、株主配當金一、七七〇圓、後期繰越金一〇、三六七円九一錢

磐炭で
慰問袋

磐炭では今次事變に際し多數の從業員を戰線におくりその家族全部に對しては充分な援助をして後顧の憂ひなからしめてゐるが更に關係將士全部に慰問袋を送ることになり目下準備を進めてゐる

耕種の改善

石城郡下における耕種改善規準設定に關する委員會は二月四日開催される、會場は未定

郊外遠足
けふ第二校

平第二校では今二十四日全校兒童の郊外遠足を左の如く催した

△一年—松ケ岡公園△二、三、四、五年—谷川瀨山△六年—荒川山△高一—鎌田山△高二—權現山

學藝會
第三校開催

平第三小學校の學藝會は二月二十五日開催される筈で目下準備中

生活改善同盟會
自稱幹事の餘罪
六百圓を窃取した外
飯坂溫泉で宿料踏倒

既報—生活改善同盟會幹事と自稱し旅費に窮した結果平驛待合室で置引を働き檢擧された弘前市和穗町生れ福井藤太郎（六七）は平署で餘罪追究の結果一月二十日午後二時頃平驛待合室で植田町字添野下遠野幸太氏所有の五百圓府金通帳及び現金百圓在中の手提カバンを窃取した外平へ來る前飯坂溫泉で十日間に亘り五十餘圓の宿泊料を踏倒し逃走して來たこと自白した

納稅剩餘金

平市立町上町納稅組合では剩餘金十円を恤兵部へ獻金することになり今二十四日鈴木四郎氏が代表市役所へ寄託した

兒童の成績品を
若松陸軍病院に送り
傷病兵を慰問

平市各小學校では聯合して若松陸軍病院に兒童の成績品を送り傷病兵を慰問することになり目下準備を進めてゐる

傳染病撲滅に
平署管內檢便
昨年の罹患者は
平細菌檢查所へ

平署では傳染病撲滅に資するため昨年中のチブス、パラチフス患者の檢便を行ふことになつたが罹病者は來る二十六日までに平細菌檢查所へ屆けられたいと、尚同署管內昨年中の患者はチフス百四十二名、パラチフス十六名で病原保有者は十六名でこのうち平市は一名である

街頭所見
一記者の

街頭所見——市內の鋪裝された道路では水を撒くと直に薄氷が張る、記者が目擊した實例は或る婦人が某所の酒店の前で轉んだ、行き交ふ人々は一齊に彼女を見て笑つた、中には『此の寒いのに道路に水を撒く奴が在るものか撒けばすぐにこほつてしまふのに』と言つた人も居た、彼女はきまりが惡いのだらう、すぐかけ出して行つてしまつた又或る家の子供がやはり道路の薄氷の爲に辷つて足を傷つけた事など聞いた事もある、一寸した注意からこのやうな危險から脫ける事が出來るのだ何にも不用の水を道路に撒く事はないのだ、ソツト溝に流せばよい、此のやうな事は一寸した注意で出來る事である、水を撒く理由が分らぬではないか、前述の如く現今では道路は鋪裝されてゐる水を撒いたとて何の役に立つか、氷つて人を傷ける位が關の山であらう、夏ではないのだ嚴寒に水を撒くと言ふ事は全般市民の良く注意すべき所ではないか記者はたゞ此の一寸した不注意から起つた事故をさらに注意して此のやうな事から起る事故を防いで戴きたいと願ふ次第である

甚だ危險が多い
鋪裝道路の撒水
交通上の事故は一寸した
注意で防ぐことが出來る

天然痘の豫防に
平市萬全を期す
衛生區長を通じて
各戶に注意を促す

岡山縣下に昨年十一月十七日痘瘡患者が發生して以來熊本、福岡、宮崎、長崎、兵庫、京都、鹿兒島、佐賀、東京等の各府縣に相次で散發し既に五十二名を數へて居るがその系統を見るに初發患者は殆んど上海又は滿洲からの歸來者關係で二次的感染も相當認められ滿支殊に上海方面との關係による病毒侵入の危惧は更に增大、今後の蔓延も益々懸念される實情にある爲め平市役所では此際特に豫防措置の強化徹底に萬遺憾なきを期さんと各衛生區長を通じて左記事項の注意書を發した

一、患者の早期發見　イ、開業醫との連絡を密にし苟も容疑者に付ては速に通報方法を講ずること　ロ、衛生組合等とも協力し各戶に對し檢病的調查の勵行其の他早期發見に努むること

二、臨時種痘の普及徹底　イ、本年は定期種痘を繰上げ二月下旬迄施行の豫定なるも未種痘兒には速かに之を受けしむると共に其住所氏名年齡を通知すること　ロ、最近種痘濟のものと雖不善感者には此際更めて受けしむる見込に付右該當者ある時は通報すること　ハ、臨時私種痘を行はんとするものあるときは豫め通報すること

三、滿支方面との交通關係者に對する警戒　イ、渡航前の種痘勵行に努むると共に歸來者の家族に對しても極力之れを普及すること　ロ、歸來者の健康狀態に注意し其攜帶品に注意し疑ふべきときは通報すること

賞與金の一部寄附

內郷村御臺境出身陸軍看護伍長入平勝利君はこの程年末賞與金の一部ですが恤兵部へ獻金して下さいと金五円を村役場へ送つて來た

平市の特產物を
神戶の見本市へ
けふ製造業者を集め
市役所で協議

平市では第三回東北振興物產見本市が二月二十四五の兩日神戶市で開催されるので市からも特產物を出品することになり今廿四日午後一時から左記製造業者を集め協議した

△ムシカマド—材木町石山忠一△玩具—十五丁目佐藤誠△わかめ—材木町金成泉一郎△保健サルヌ—鍛冶町牛久英、染物—南町鈴木留五郎

平職業紹介所が
けふ新廳舍移轉

平職業紹介所は既に竣工も間近になつたがけふから總動員法に依る技術者の登錄が始るので今迄の市廳舍の一部間借りでは狹隘に失する爲めけふから新廳舍[illegible]移轉して事務を開始した

平市米增收
郡下は反對に
幾分減收を見る

平市及び石城郡下に於ける十三年度の米實收高はこの程發表されたが平市が作付反別三、四一四町（七、四六四石）を收穫、前年に比べ〇、七六石の增收を示してゐるのに反し石城郡は作付反別八八、二五四町に對し收穫は一八八、二三四石で前年に比べ〇、[illegible]八石の減收である

これは植付後の冷雨が續いたのが最大の原因であるが更に六月二十九、三十の兩日及び十月一日の再度に亘る水害に加ふるに十月上旬降雨が續いたため稻の倒狀多くまた地方的に稻熱病の發生がこの減收を示すに至つたものである

商店主が聯合し
將兵慰問金募集

內郷村大字高坂字御殿の各商店ではこの程聯合して資金を募集同字より出征して目下前線で活躍してゐる將兵の各家庭を訪問してそれぞれ慰問金を贈つた外恤兵部へ二十圓を寄附感激せしめたが活動した人々は左の如くである

市川繁　井上與作　濱松嘉　遠藤ミツヨ　神野照明　栗田廣重　隱谷彌七　小林福男　渡邊庄三郎　青木謙治　片寄市造　三本杉彥市　岡谷ハナヨ　鹿野萬太郎　津田イノ　志賀東一　虫本喜次郎　鈴木善次　虫本伊四郎　助川丑藏

植田慰問袋

植田町大字植田の國防婦人會では前線將士のため慰問袋を送ることになりこの程これが製作奉仕をした

敗戰國の
哀れな姿

山田村出身横尾部隊久保木信平軍曹は目下前線で活躍中だがこの程同村銃後會へ左の如き便りを寄せた

大日本帝國の臣民として生れたことを非常に幸福に思つてをります敗戰國の哀れな姿を目のあたり見た時若しも支那に生れたならばどうだつたかと痛切に感じてゐます

寒稽古
第一校納會

既報—去る十三日から八日間劍道の寒稽古を行つた[illegible]校では今二十四日これが納會式を擧行、紅白試合、個人試合等を催したが頗る盛んであつた

厄介者の
心苦しさ
親子心中後聞

既報—吉子を絞殺自殺を圖つたが死に切れず苦悶しながら駐在所に自首した勿來町大字關山字南町小野[illegible]太郎氏方同居人小林時三郎（六七）さんは其後手當の甲斐もなく二十二日午後二時遂に絕命した

同人は宮城縣石巻市生れで幼少から東京で奉公してゐたが十數年前妻に死別後腎臟病を患つて思ふやうに働けぬため昭和十年一月から義弟に當る前記小野方に身を寄せてゐたもので父子で世話になつてゐるのは心苦しいと遂に自殺を企てたものとみられる

尚時三郎の二男秀[illegible]（[illegible]）君はこの慘狀を知らず目下東京某商店に眞面目に奉公してゐるといふ

炭車に……
跳飛され
坑夫が慘死

好間村大字北好間日曹小田炭礦坑夫常泉開吉君（二三）は二十四日午前四時頃坑內で作業中炭車に跳飛ばされ慘死した

平市人事

◎出生

△長橋町二五目下豊間村大字薄磯字中街五八廣次郎氏三男根本榮一君（三）

△四丁目四五萬吉氏甥菊田耕介君（三）

ラヂオ

JKO

今晚の部

▽後六、〇〇　子供の時間　齊唱と合唱世界名曲集三、「日本」BKコドモ唱歌隊
▽後六、二五　講演「支那新政權の發展」大西齊
▽後七、四〇　（北京より）講演
▽後八、〇〇　室內樂
▽後八、三〇　ラヂオ時局讀本（一）
▽後八、四〇　（滿洲より）青年の時間「大陸花嫁座談會」
▽後九、一〇　放送歌劇「イスの王」合唱大阪放送合唱團（管絃樂）大阪ラヂオオーケストラ

明日の部

▽前一〇、二〇　家庭講座「時局と家庭經濟」赤谷良一
▽前一一、〇〇　小學生の時間　尋二兒「童劇ニイサンの人參」東京學校劇協會
▽後〇、〇五　新日本音樂　新管絃樂
▽後二、〇〇　小學生の時間「尋六に唱歌、東京市碑衾尋高小學校兒童
▽後三、〇〇　婦人の時間「私の見た各國婦人の服裝と印象」田中千代
▽後六、〇〇　子供の時間　童話劇、戰場の華（二）東京コドモ會
▽後六、二五　第二次東北振興講座（一六）東北の產業組合と金融　產業組合中央金庫仙臺支所長　南[illegible]
▽後七、三〇　國民歌謠「愛馬進軍歌」陸軍省選定
▽後八、〇〇　獨唱、鐵能子外、チエンバロ伴奏
▽後八、四〇　謠曲「[illegible]」喜多六平太外
△後九、一〇　漫談、牧野周一

吉[illegible]眼科醫院
平市紺屋町
電話八六番

愛憎三度笠
吉川[illegible]作

其168……

密偵　七

「卑！」

と、侍が云つた。

「捕へられて居るのか」

「はい」

「エ、殿の御歸を待つてはなしません」

「さうか」

と、云つた時、あやふく、白い刃が暗中にキラリと光つた。刀に物らせる時は、斬り込む機會を作らせる隙である。

と、一瞬、舞台が暗えたかと思ふと同時に、その男の叫びが聞えた。

「やりやがつたな、畜生！」

「ハ、、だから逃げると申したではないか、斯て居際に切りつけて置き乍ら恨みがましい口を利すな」

浮をつき掘つた侍の聲は、他で聞いてゐる人があれば腰をかゝへた笑樣を感じたかもわからない。

「畜生、畜生」

その男は、唯ならざるを知て、今夜はお綾を殺す氣になつた。

女は、その間にあやふく逃げんとして[illegible]をふるひ腕をして腕まれた手を振り切らうとあせつて見たが、益々固くつかんだ男の手は容易にはなれぬばかりでなくその男の手にした刀がお綾の目にはつかなかつた。

可愛さあまつて憎さが百倍、彼女の胸先にサツトと突き刺す腕の上にキラリと光つたものがある。

「おやつ」

と、その男の鋭い驚のひびきのやうな叫びが、闇の山獄にこだまする。

「野郎、何といふことをするのた。」

[illegible]い[illegible]んだ事である。

「待つたな、[illegible]」

「極め、極め、おまへ[illegible]を殺さうとしたから[illegible]に斬つたのだ」

「一體の女を何が斬るのだ！」

「[illegible]、まだ手を放さぬのか」

侍の双が叉[illegible]いた、[illegible]のこととて、たしかに眼はさとくなめても、距離に多少の[illegible]ひはないとはいへぬ。

「アッ」

鋭い叫びは女の聲だつた。さつきあまつて、綾のどこかを斬つたらしい。それには今まで泰山の如く自若として動かなかつた侍の心に、俄然として、[illegible]のやうな叫號が起つた。

「しまつた斬れたか！」

と、たちまち、刃を置いて、腰にした火打道具をとり出したのである。

「いえ、仕方がございません」

お綾がうめく

「一寸おまち、この暗さでは何とも致し方がない、提灯に[illegible]あつたはずだ！」

火打石を打初めるとほくちに火がつくと、いほうをとつて、火につける。提灯はすぐ足もとにころがつてゐたが誰にもふまれずに、燈籠も殘つてゐた。

「執念の強い奴ちや！」

と、其侍もがく然とした。

その男は第二の刃で腕を斬りおとされたが、その腕がお綾の腕をつかんだまゝでうごかないのである。

お綾の傷は、この時既に、二の腕を二寸ばかり斬りさかれてゐるばかり。

「此奴仕方のない奴ちやと[illegible]」

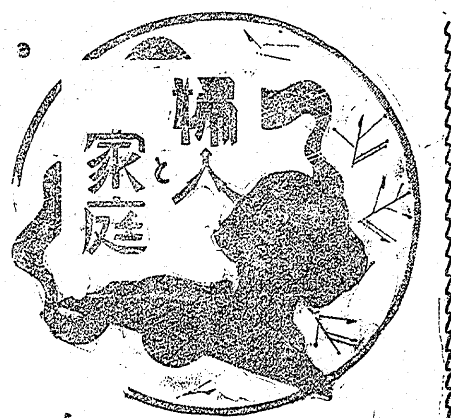
侍は、お綾の腕をつかんだまゝの、男の腕をはなさうとしてゐるが花のやうにかたくくつゝいて容易にはなれない」

趣味

凱旋を待つ適齢期の娘

小池元子

今結婚適齢期にある娘さんやその父兄達はかういふ考へをもつてゐる人が相當に多い事を感じます、それは今結婚する相手で若くて丈夫で頭もよい人は殆ど戰線に出てゐて日本に殘つてゐる人達は結婚の相手として望ましい人は少ない、それよりも戰線から歸つて來る立派な男子を待つてよい結婚をさせたい、したいと云ふのです。そしてそれを待つ期間を無駄にせず、何か自分の身につく職業を覺えて置かうと云ふのですれば誠に戰時日本のよい傾向であり、戰地の未婚男子に安心して御國のために戰つていたゞく力を與へるものであると思ひます、御國のために命まで投出して働いてゐられる兵隊さんを思へば、戰爭に行けない私達は銃後にあつてどんなにつくしてもつくしたりない思ひです歸る凱旋勇士を迎へるために若い娘さん達は、自活出來る仕事を覺えると同時に、次の時代を背負ふ主婦としてのよき生活の訓練を學び研究し戰後の國力をます〳〵伸ばせるために、如何に困難にも打勝つて祖國日本ひいては全人類のために正しくたゝかひ得る强き女性となる事を切に希望いたします



寒い日には お雜炊を

お寒い日には、手のかゝらないオジヤをこしらへて子供さんに食べさせませう

お鍋に水を入れて、人參と甘藷を賽目に切つたのを加へて軟かく煮ます、次に御飯を入れて軟かくなるまで煮て砂糖、鹽、醬油で味をつけて、最後に煮干粉を加へて火から下します、これで榮養もよく體のあたゝまるオジヤが出來ます

醬油は初めから入れないで、後で加へた方がおいしくなります

煮干粉のないのない時には削節を細かい粉末にして使ひます

（大崎雪子）

榮養とは？ 贅澤とは別です

事變下食べ物心得帖

戰爭が始まるといづれの國も必ず國民の體位が低下することを過去の歴史が語つてゐます、體位が低下するばかりでなく色々の疾病がふえて來ます、その主なる原因の一つは榮養の不足にあるといふことが出來ます、時局下にあつては特に榮養に注意していたゞきたいと思ひます、十分なる榮養をとる事は決して贅澤な食事をとることでもなければ、澤山食べることでもありません、またいかなる食物でもたゞそれ一つで人體のすべての榮養になるやうなものはありませんから、諸君に[illegible]んな食物にはどんな榮養分が含まれてゐるかを[illegible]おいて時に應じ[illegible]適當に配合して[illegible]不足を補つて行くやうに願ひたいのです

人が活動して行く上に是非とも攝取しなければならない榮養素を大別すると次の六つになります

（一）蛋白質 （二）含水炭素 （三）脂肪 （四）無機質（灰分） （五）ビタミン （六）[illegible]

蛋白質 は人體のすべての[illegible]要素です、この蛋白質を多量に含んでゐる食物は獸肉、魚肉、牛乳、卵、大豆、豆腐、高野豆腐、煮干、するめ等です、この蛋白質には植物性と動物性と二種類ありますから適宜に配合して先づ成年男子一日約八十グラムを攝取することが必要とされてゐます

含水炭素 は人體に熱と力を與へて活動させる要素です、米麥、サツマイモ、馬鈴薯、パン、麵類等に多く含まれてゐます、これ[illegible]一日約[illegible]グラムが必要です

脂肪 は含水炭素同樣活動力を盛んにするもので、バター、ゴマ油、菜種油その他の油類の中に含まれてゐます、量は一日約二三十グラムとされてゐます

無機質 は灰分とよばれるもので[illegible]において齒牙、骨格等の固形物の形成を第一とし、更に種々の機能を發揮して强壯、[illegible]性を與へます

小魚、淺草ノリ、牛乳、コンブ、エビ、小松菜、カニ、ダイコン、鷄卵、白菜、ワカメ、ゴバウ、ハウレンサウ、味噌等に多く含まれてゐます

繊維素 には榮養はありませんが消化器に吸收と排泄を助けるもので、野菜類には大抵含まれてゐます

メリヤス肌着 良し惡しの區別

横に延ばして元に歸れば 編み地の良い證據

メリヤス製の肌着は、形狀から云へば成形式と裁斷式と、大別される。前者はあみ幅をひろめたり、せばめたりして成形を行ひ、所要の各部分を作つて

これ等の 各部分を適當に結合してからだの各部に適合するやうに作るもので、後者は長尺に編んだ編地を適宜に裁斷してからこれ等を縫ひ合せて目的の物を作るものである。ですから成形式で作つたものは各部分の縁耳にかける編目が完全に維持されてゐるので

これ等の部分を結合する時、縁の編目と編目とを綴り合すことが出來る結果となり、從つてその接合部は伸縮性に富み、しかも目立たぬやうに縫合せがしてある。

これに對して裁斷式の方は

裁斷の爲 に裁斷端のあみ目が破損してゐるので、あみ目とあみ目で接合することが出來ず、相當の縫代だけ内部の方へ縫はなければならず、從つて縫目が厚くなり伸縮性も乏しくなつてゐる。だから、どちらかと云へば、着心地は成形式の方がよいわけである。これを外觀的に見分けるには製品の裏をかへして縫合せであるか、接合せであるかを見ればよい。

次にメリヤスのあみ地の良否は、製品を横にひきのばして抵抗力があつて

よく伸び 離して元の形を保つのがよい。これは羊毛、綿その他材料關係もあるが、伸びたまゝ元の形にかへらないものは不良であるし、そして編地はあみ目がまばらなく整で正しく、使用糸が細かくてやはらかでなめらかなものがよい

又、用途に應じて婦メリヤス、久能のある木綿メリヤスが

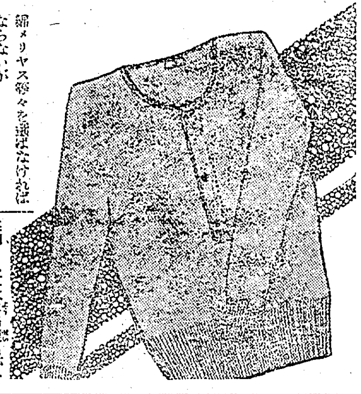
婦人服の 如く曲線ふものには絹メリヤスが上

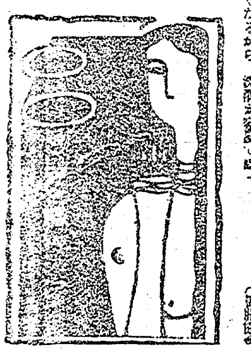
婦メリヤス等々を選ばなければならないが

幼兒用、幼兒用のものはよごれやあせなどが付きやすく、洗濯も多くなるから、洗濯が容易で[illegible]

寒用としては梳毛製品が一れてゐる、中でもラクダ、ヤ等が保温も耐久も良好な

（被服協會）





廢品利用

リフト帽 やラシヤ帽は裏返してしんにボール紙を使用しますとスリツパーに作れます、染色し或はそのまゝで子供靴、鞋入、靴ふきその他が作れます

イタリア人の癖

最近デイヴイツド・エフロン及びヴァン・ヴキーンといふ三人が、人間のジエスチユアばかりを發表したが、それによると特にイタリア人は、常日ごろから極めて複雑で[illegible]な而もそれ〴〵一定の意味をもつたジエスチユアをするとのことである。

例へば「喰ふこと」は片手の指をすぼめたまゝ口へあてがふし「腹が減つた！」は右手を平にひろげたまゝ脇腹を輕く叩く、親指と人さし指を合せ、むき出した齒の前で上下するのは「怒[illegible]」人さし指と中指とをならべ[illegible]と、大好に又は、アヴエツを意味する、兩手の指を[illegible]まゝその指先をつけたり[illegible]すれば、[illegible]息子の小づかひに類する親父の[illegible]。指と小指を突きだすのは「ち」

ネクタイを指で前後に扱「俺だつて滿更馬鹿ぢやねのちよつと得意顏！」と云ふ合だ、さて日本人は？

肌の光澤の消失 これが皺の第一歩

◇◇◇◇◇◇

冬は油斷できぬ時期

◇◇◇◇◇◇◇◇◇

とうして豫防出來るか

顏にしはがふえることは女にとつて一番悲しいことで、昔[illegible]できたしはをとるために[illegible]ひなやんで、遠く米國から油藥を取寄せたといふ話さへ傳はつてゐますが

大 體二十六歳位から後は一寸した不注意でもしわができやすいものです。そのしわのできる原因は色々ありますが外部的なものとしては第一に空氣がかはいてゐるといふことです、日本の冬は非常に濕度が低いので、二十六才以後の婦人にとつて殊に冬は油斷のならない時といはねばなりません

一體しわは急にできるものでなくまづその部分の皮膚の彈力を失ひつやがなくなることからはじまります、つやが失せた皮膚をとつて

顯 微鏡でみると、無數の溝が見られるさうですが、このヒヾのやうなものが段々と筋肉の動きによつて一つに集められ遂に肉眼で見える小皺となるのです、で、一旦出來た皺は容易に消すことができないものですから、出來ない前、肌につやがなくなつた時には出來るだけ注意をして食ひ止めなければなりません、まづ一番必要なのは石鹸分を漉して肌にとゞめておかないことで、石鹸で顏をあらふのはいゝとしても、あとを充分に水であらつてすつかりと

石 鹸をなくしておくことです次にヴアニシングクリームに注意することで、このヴアニシングクリームのなかには、石鹸分に含んでゐるものがありますから注意して選ばなければなりません、それから肌につやを保たせるために脂肪を[illegible]やさないこと、必要以上に[illegible]をつけるやうな表情をすること、かういつた注意から寢るまでの間は特に必要

祖國

堀健吉作 畠野奎三畫

●●四六●●

途上 二

「僕の定宿は帝都ホテルさ。あそびに來たまへ」

八木はその若い貴族院議員のうしろ姿をながめながら、わかい身空で帝都ホテルなどゝ、しやれこんでゐる友人の豪奢さが、彼自身の實力によるものでなくて、親の遺産のおかげだとしつてゐるから、いつ何時、經濟恐慌の荒浪にさらはれてしまはぬものでもなくみんな砂の上の樓閣をうらやむ氣はおこらなかつた。

些細な金ではあるが、旅費としていま彼の懷にあるものは、彼自らの汗のたまものであり、自分の鐵腕の手でひろひあげたものであつて見れば、一人旅も樂しくむしろ彼の友人よりも豐かな感じてゐるのだ。

たゞ、旅からかへつたら彼の所を訪問して見やう。

その友人は山下と云つて、高等學校時代のクラス・メートだつた。

繪の好きな男でしば〳〵油繪などをかいてゐるのを見た事があつた。

それが今では政治なんて柄にもないことをやつてゐるのも、ちやんちやらおかしいわけでもあるが、金と云ふものはまた人間を踊らせもし又人間をしづませもするのだ。

彼は東京驛の改札口を通つて下の關行の三等急行の客車に身を入れた。

窓口から半身のり出して、プラツトホームをながめると、旅立つ人を見送りに來た人達が、客車の窓に話しかけてゐた。その中にはわかい洋裝の少女もゐたし、又腹のつき出た實業家らしい老人もゐた。また保險の外交員の樣な貧弱な洋服の男もゐた。

こゝもまた社會の一つのパノラマである。

あはれな悲劇も喜びの物語もこの客車の中の旅人の身にあると同じく、見送る人々の家にもまたあるのだ。

八木[illegible]を見送りに來る誰もなかつた。それは旅の氣[illegible]をもとめて、誰にも出發の時間をかくしてゐたためであつた。

旅と云ふものは一人がいゝ。一人になれば人々はつゝましくなりつゝましい氣持は人を幼子の樣な童心にかへらせる。するとあらゆる不滿も嘆きも、旅らしい氣やすさのために忘られてゆく。

だから古來より旅をつくり、よき詩をつくつた人々はみな旅を愛した。芭蕉も一茶もその通りだつた。

汽車はうごき出した。

新橋を通り、品川の驛をはしりぬけ、大森のあたりをまつしぐらに走つた。

大都會を今、背後にして汽車は西へ向つて行つた。

時々はえる樣に警笛が輕快な音を鳴らした。

潮をふくんだ風が窓からながれて來た。

汽車は横濱についた。

こゝでも驛路のざはめきがしばらく鳴りひゞいた。

八木は窓から首をのり出して、サンドイツチとコーヒーを買つた。

プラツトホームのあちこちに若い晴れやかな米國娘が歩いてゐた。

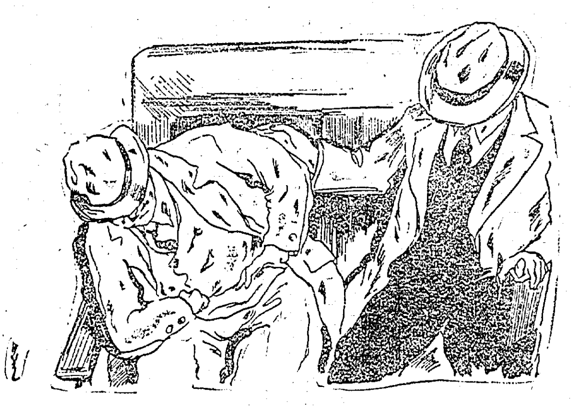
いかにもそこは横濱らしく、汽車の窓から見ても山の手の丘の中腹にある外國人の居留地の家や街の建物の瓦が美しくのぞまれた。

汽車は出發しはじめた。

この時、走り出した汽車に一目散に走つて來て、とびのつた男がゐた。

その男は八木たちの客車にはいつて來た。

空席が丁度八木の隣にあつたのを見つけると、男はそこへ來て腰をおろした。



芳醇！ 味美！
たひら正宗
山崎合名會社 電話一〇番

花柳病科外科
木村外科醫院
平市六丁目橋際 電話三〇九

國旗と提灯

電話五九二一番に變りました。
食事 喫茶 酒場を兼ねた
レストラン サロン
平市銀座街

平病院（電六四一番）
平市警察署側【元共濟病院跡】
院主 醫學博士 鈴木定藏
内科 小兒科 院長 鈴木定藏
内臟一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄
（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診隨時
病室完備…入院隨時【自炊ノ便アリ】
入院料 一日 特等貳圓・一等壹圓五拾錢・二等壹圓參拾錢

内科外科一般
金成醫院
金成忠義
平市鍛田町 電話三五八番

▽是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四 電話六〇六番

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平市五丁目 電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

フケで頭の痒ゆい方に……
三共のサボイド石鹸の御使用をおすゝめ致します。
本石鹸は最上の原料により製せられた硫黃コロイド石鹸ですから、其他あらゆる皮膚病の方が用ひてよろしく、又、皮膚病豫防の目的にて常用されれば美容と衛生の上から非常に喜ばしい效果をもたらします。
1ケ20セン
三共株式會社代理店
西村屋藥局
平市本町二丁目 電話三番

◇御贈答には……
〃是非!!!〃
干やなぎと鰹節
▼「鰹鹽から」も御座います
志賀盛榮商店
平市四丁目 （電話二一三番）

三井タクシー
平二 電話六八五番

五ケ年保證の
ラヂオ アンテナ線
一臺分の價格約二圓五十錢
品切れにならぬ内にお早くお求めを乞ふ
公認甲種 石田電機工業所
平市研町五〇（電話呼二五七）

外科一般 レントゲン科
内臟外科 泌尿器科
北川外科
平市新川町二七 （電話四六四番）
醫學博士 北川芳夫
◎晝夜診療・入院隨時・血液檢査毎日

シモヤケ家傳藥
是までシモヤケは暖かくならねば治らぬものと諦めて居つたのが一日二、三回の御使用でクヅレたシモヤケも忘れたやうに完全に治ります。
現今の塗藥は異つた療法により根本から除去するものであります。シモヤケは寒さの爲になるもので塗藥では決して治るものではありません又クヅレタシモヤケに塗藥では塗布と同時に痛みを感じたりカユミを增したり致しますが此藥は無刺戟の中に心地良い療法により皮下の血行を良くし幼きお子樣方にも喜ばれて如何にクヅレたシモヤケでも完全に治る事保證致します。
（定價三十五錢）
東京市丸井邦貨堂
茨城 福島 兩縣特約販賣
伊藤石炭店
平市一丁目 電話三四九番

吸入用酸素 99%純度
體温計 寒暖計
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
◇寫眞材料一式販賣致シマス
關内藥局 電話四〇番